

平成25年度

○第6回県政ひざづめ談議の結果概要

開催日時	平成25年7月25日(木) 午後2時から午後3時30分頃まで
対話テーマ	観光振興を通じた源流の郷づくり
対話場所	丹波山村「郷土民俗資料館2階 会議室」
参加者	小菅村・丹波山村の地域づくり団体等 20名
参加者の 主な発言	<ul style="list-style-type: none">・現在、山梨県立大学と観光協会と共同で、農家民泊を計画しているが、実施にあたっては、食品衛生の関係などでハードルも高いので、今後、適切なアドバイスなどをお願いしたい。・観光の面では、魅力的な農産物などが必要だが、まずは、観光に来てくれる人の安全・安心の確保が重要であり、そのためには、道路整備や消防体制の整備をお願いしたい。・友達と会社を立ち上げて、マイタケなどを都内などに卸しているが、丹波山や小菅はマイタケの栽培に適しているの、うまくやれば産業になり、若者の雇用も増えると思う。・丹波山村や小菅村だけではなく、東京都の奥多摩湖を含めた大きな地域で、それぞれの観光資源を活用すれば、一大リゾート地にすることができると思う。  
知事の 主な発言	<ul style="list-style-type: none">・県内にも都会から企業を呼び込んで交流を積極的に行うべく、この地域は自然が十分で、皆さんの受け入れ体制もできているので、大いに可能性がある。・地域おこし協力隊の皆さんは、この地域の人ではない目で見ることができるから、地元の人では気づかない地域の値打ちを見つけることができる。・人は一回嫌な思いをすると、二度とそこを訪れようとは思わないものだが、リピーターが多いということは、皆さんのおもてなしがいいからだと思う。・この地域と外の交通のパイプをしっかりとすることが大事なので、道路整備に力を入れている。・皆さんの話をお聞きして、非常に心強く思う。県としてバックアップするので、多摩川源流地域が活気を取り戻すよう、頑張ってください。  